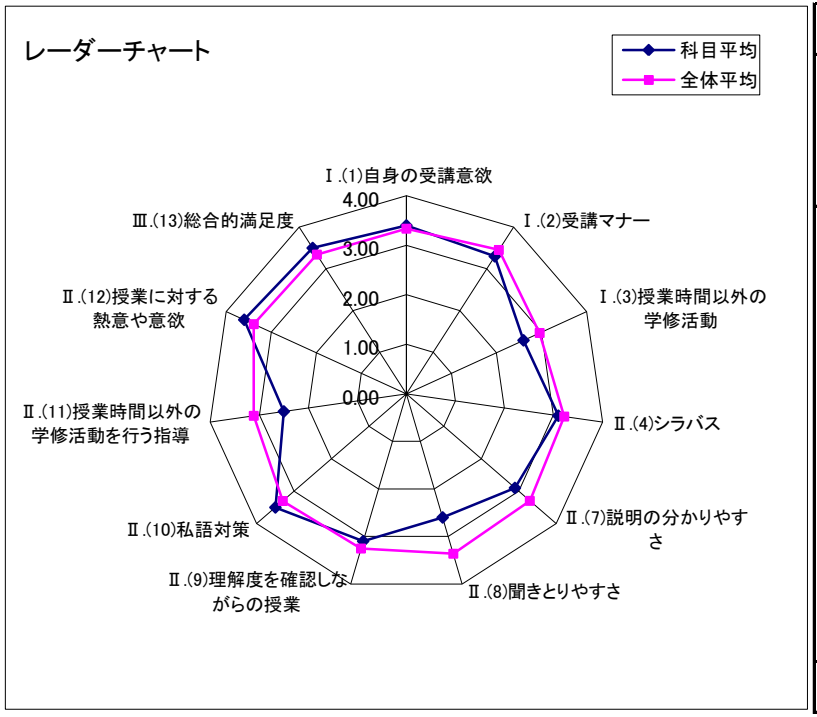
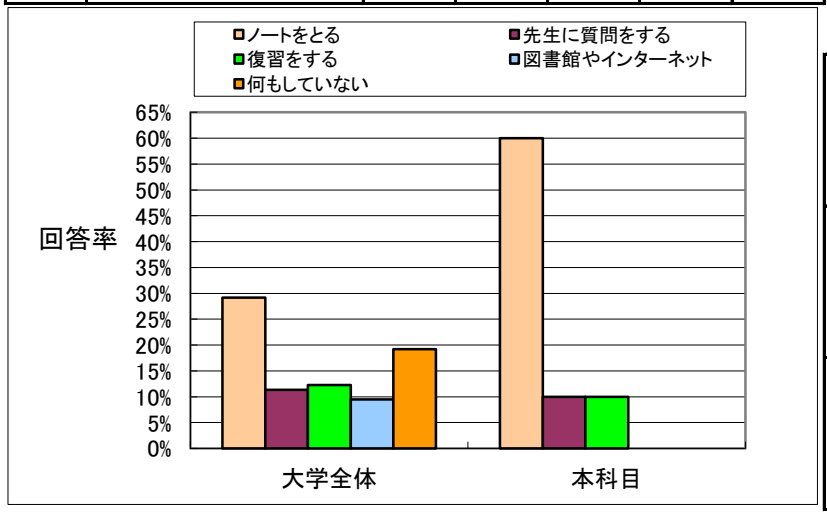
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.40	3.33
	Ⅰ.(2)	3.30	3.45
	Ⅰ.(3)	2.60	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.10	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	2.90	3.30
	Ⅱ.(8)	2.60	3.36
	Ⅱ.(9)	3.10	3.25
	Ⅱ.(10)	3.50	3.30
	Ⅱ.(11)	2.50	3.11
	Ⅱ.(12)	3.60	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.50	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	60.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.10	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.04	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.50	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	3491
科目名	教育原理
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスが授業履修するのに役立ったかという点に関しては8割が肯定的な回答であり、シラバスに関しては現在のものを基礎に一層充実したものにしてゆきたい。授業の難易度に関しては難易度がやや高いと感じられているようである。このことに関しては授業科目が原理的なことに関わるので内容をどのように具体的なことに結びつけて理解してゆくかという点に十分な注意を払っているが、なお一層の工夫が必要であると思われる。

②授業の進め方について

授業の満足度に関しては科目平均が「3.5」であることからすると、低くはない。授業環境も受講学生諸君から守られていると評価されていると考えられる。しかし、受講学生諸君の理解を確かめながら授業を進めているかに関してはやや評価が低くなり、さらに自由記述欄に「声を大きくしてほしい」というのがあり、授業の進め方に関しては一層の注意と工夫が必要であることが分かった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

授業に対する受講意欲に関して、あまり「高くなかった」という回答が2割あり、これをどのように高めていけばいいかが課題として残る。今年度授業では、毎回というわけにはいかなかったが、受講生を3人(場合によっては一部で4人)一組のグループに分けそこで討論・議論してその結果を発表するというやり方をできるだけ限り取り入れた。教員がグループでの討論・議論にどう関わるのか、また結果の発表とクラス全体での討議をどのように関わらせるのか等なお様々課題が残っているが、それらをさらに検討しつつグループ討論・議論というやり方は続けてゆきたい。

奈良産業大学